

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
観光サービス論	2	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(さかもと、ちえ) 坂本、崔	初回の授業で説明します。			

(英文科目名 Tourism Industry)

授業の概要

近年、観光は主要産業となっており、その経済効果は年々大きくなっています。一口に観光といっても、その実態は多様であり簡単に理解することはできません。そこで本講義では、まず観光の基礎的な事柄を学習します。その後、観光産業や観光政策を具体的な事例をもとに理解し、観光や観光ビジネスの現状と今後の展望を考えます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。観光の基礎的な事柄と実際の観光現場起きていることの学習を通して、観光や観光ビジネスを理解します。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	観光の基礎を修得し、観光がもたらす様々な影響を説明できる。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	観光とそれに関わるビジネスの現状を理解し、今後の展望についての意見を述べるができる。
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	観光産業が抱える問題について観光学の観点から考察し、問題解決を検討することができる。
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修/事後学修
1	講義ガイダンスと観光の基礎	事前学修:シラバスの用語の確認(90

		分) 事後学修:観光基礎のまとめ(90分)
2	観光に関わる言葉	事前学修:教科書の第2章に目を通す(90分) 事後学修:第2回目の講義資料の復習(90分)
3	観光の仕組み	事前学修:教科書の第3章に目を通す(90分) 事後学修:第3回目の講義資料の復習(90分)
4	観光資源	事前学修:教科書の第4章に目を通す(90分) 事後学修:第4回目の講義資料の復習(90分)
5	観光産業の構成と特徴	事前学修:教科書の第5章に目を通す(90分) 事後学修:第5回目の講義資料の復習(90分)
6	様々な観光ビジネス(1):旅行業	事前学修:教科書の第6章に目を通す(90分) 事後学修:第6回目の講義資料の復習(90分)
7	様々な観光ビジネス(2):宿泊産業	事前学修:教科書の第7章に目を通す(90分) 事後学修:第7回目の講義資料の復習(90分)
8	様々な観光ビジネス(3):交通運輸業	事前学修:教科書の第8章に目を通す(90分) 事後学修:第8回目の講義資料の復習(90分)
9	様々な観光ビジネス(4):テーマパークなど	事前学修:教科書の第9章に目を通す(90分) 事後学修:第9回目の講義資料の復習(90分)
10	観光と情報	事前学修:教科書の第10章に目を通す(90分) 事後学修:第10回目の講義資料の復習(90分)
11	観光政策と行政	事前学修:教科書の第11章に目を通す(90分) 事後学修:第11回目の講義資料の復習(90分)
12	観光マーケティング	事前学修:教科書の第12章に目を通す(90分) 事後学修:第12回目の講義資料の復習(90分)
13	観光の系譜	事前学修:教科書の第13章に目を通す(90分) 事後学修:第13回目の講義資料の復

		習(90分)
14	観光と国際経済・社会・文化	事前学修:教科書の第14章に目を通す(90分) 事後学修:第14回目の講義資料の復習(90分)
15	講義のまとめ	事前学修:これまでの講義内容の確認(90分) 事後学修:全講義の復習(90分)

成績評価の方法・基準

期末試験(60%)、講義時間中のコメントシート・小レポート(40%)

指定教科書

JTB 総合研究所(2019):『観光学基礎 観光に関する14章』JTB 総合研究所。

参考文献等

適宜、紹介します。

履修上の留意点

多様な観光を理解するために、日頃から観光に関するニュースに触れるようにしてください。また、実際の観光地がよい教材ですので、積極的に観光するようにしてください。

実務経験